

## 第 129 回日商簿記検定試験 模範解答

## 2 級

## 商 業 簿 記

## 第 1 問 (20 点)

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	現 金	5,000,000	借 入 金	7,000,000
	売 掛 金	3,800,000	資 本 金	6,500,000
	備 品	3,200,000		
	の れ ん	1,500,000		
2	繰 越 利 益 剰 余 金	1,380,000	未 払 配 当 金	800,000
			利 益 準 備 金	80,000
			別 途 積 立 金	500,000
3	仕 入	450,000	受 取 手 形	300,000
	保 証 債 務 費 用	6,000	買 掛 金	150,000
			保 証 債 務	6,000
4	商 品 保 証 引 当 金	15,000	現 金	15,000
5	受 託 買 付	230,000	当 座 預 金	230,000

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点

(配点は、当学院の予想です)

## 第 2 問 (20 点)

残 高 試 算 表

借 方		勘 定 科 目	貸 方	
4月30日の残高	4月1日の残高		4月1日の残高	4月30日の残高
284,000	360,000	現 金		
324,000	314,000	当 座 預 金		
872,000	820,000	受 取 手 形		
931,000	1,060,000	売 掛 金		
440,000	440,000	売買目的有価証券		
100,000	200,000	貸 付 金		
545,000	545,000	繰 越 商 品		
6,000	61,000	未 収 金		
2,000,000	2,000,000	備 品		
		支 払 手 形	648,000	746,000
		買 掛 金	819,000	641,000
		所 得 税 預 り 金	23,000	18,000
		未 払 家 賃	43,000	
		貸 倒 引 当 金	57,000	57,000
		備品減価償却累計額	900,000	900,000
		資 本 金	2,500,000	2,500,000
		繰越利益剰余金	810,000	810,000
		売 上		431,000
		受 取 利 息		4,000
286,000		仕 入		
240,000		給 料		
83,000		支 払 家 賃		
		( 仕 入 割 引 )		4,000
6,111,000	5,800,000		5,800,000	6,111,000

1 つにつき 2 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

## 第 3 問 (20 点)

損 益 計 算 書  
自平成 22 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日

(単位 : 円)

I 売 上 高		( 9,964,000 )	
II 売 上 原 価			
1 期首商品棚卸高	( 297,000 )		
2 当期商品仕入高	( 6,920,000 )		
合 計	( 7,217,000 )		
3 期末商品棚卸高	( 258,500 )		
差 引	( 6,958,500 )		
4 棚卸減耗損	( 20,350 )		
5 (商品評価損)	( 30,310 )	( 7,009,160 )	
(売上総利益)		( 2,954,840 )	
III 販売費及び一般管理費			
1 給 料	869,000		
2 旅 費 交 通 費	389,550		
3 保 険 料	( 52,800 )		
4 水 道 光 熱 費	176,000		
5 消 耗 品 費	( 94,500 )		
6 (貸倒引当金)繰入	( 8,300 )		
7 (減価償却費)	( 131,440 )		
8 退職給付費用	( 21,200 )	( 1,742,790 )	
(営業利益)		( 1,212,050 )	
IV 営業外収益			
1 有価証券利息	11,250		
2 受取配当金	37,600		
3 受取地代	( 54,000 )		
4 (有価証券評価益)	( 18,800 )	( 121,650 )	
V 営業外費用			
1 社 債 利 息	( 88,000 )		
2 手形売却損	36,800		
3 (売上割引)	( 4,500 )	( 129,300 )	
(経常利益)		( 1,204,400 )	
VI 特別利益			
1 固定資産売却益		17,600	
VII 特別損失			
1 (火災)損失		( 72,000 )	
税引前当期純利益		( 1,150,000 )	
法人税、事業税及び住民税		( 460,000 )	
(当期純利益)		( 690,000 )	

1 つにつき 2 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

## 工 業 簿 記

## 第 4 問 (20 点)

(1)

補 助 部 門 費 配 賦 表

(単位：円)

費 目	製 造 部 門		補 助 部 門		
	第 1 製造部門	第 2 製造部門	動 力 部 門	修 繕 部 門	工 場 事 務 部 門
部 門 費	6,250,000	4,560,000	1,170,000	900,000	882,000
動力部門費	650,000	520,000			
修繕部門費	600,000	300,000			
工場事務部門費	392,000	490,000			
製造部門費	7,892,000	5,870,000			

(2)

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
仕 掛 品	( 13,755,000 )	製 造 間 接 費	13,762,000
予 算 差 異	( 62,000 )	操 業 度 差 異	( 55,000 )

1 つにつき 2 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

## 第 5 問 (20 点)

組 別 総 合 原 価 計 算 表

(単位：円)

	X 製 品		Y 製 品	
	原 料 費	加 工 費	原 料 費	加 工 費
月初仕掛品原価	112,500	87,300	23,000	66,480
当月製造費用	247,500	( 703,200 )	177,000	( 421,920 )
合 計	360,000	( 790,500 )	200,000	( 488,400 )
月末仕掛品原価	( 40,000 )	( 46,500 )	( 25,000 )	( 26,400 )
完成品総合原価	( 320,000 )	( 744,000 )	( 175,000 )	( 462,000 )
完成品単位原価	( 400 )	( 930 )	( 250 )	( 660 )

1 つにつき 2 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

## 【2 級解説】

## 第 1 問

- 吸収合併は、株式を交付することで被合併会社を取得したと考える。このとき、合併により引き継ぐ資産・負債は時価で受け入れ、取得原価(交付株式の時価)と受入純資産の差額は「のれん」勘定で処理する。
- 利益剰余金からの配当を行ったときは、資本準備金と利益準備金の合計額が資本金の1/4に達するまでは、配当額の1/10を利益準備金として積み立てなければならない。
  - $¥800,000 \times 1/10 = ¥80,000$
  - $¥4,000,000 \times 1/4 - (¥700,000 + ¥200,000) = ¥100,000$
 (1)と(2)のいずれか少ない方が積立額  $\therefore ¥80,000$
- 裏書や割引を行った手形が不渡りとなったときは、手形所持人から手形を買い戻す義務(遡求義務)が生じるため、手形の裏書・割引時にそのリスク(保証債務)を見積もって保証債務費用として計上する。
- 商品の買い付けを委託され、商品を買付けたときは、自社の仕入商品と区別するために「受託買付」勘定で処理する。受託買付勘定は、借方に委託者に対する債権を、貸方に委託者に対する債務を記入する。

## 受 託 買 付

立替諸経費	手付金の受取 委託者に請求する額
商品買付代金	
受取手数料	

## 第 2 問

各仕訳帳に記入された 4 月中の取引を勘定科目ごとに集計し、試算表を作成する。なお、各仕訳帳から推定される仕訳は以下のとおりであるが、集計の際には二重仕訳に注意すること。

## 普通仕訳帳より

4/ 1 ( 未 払 家 賃 )	43,000	( 支 払 家 賃 )	43,000
17 ( 買 掛 金 )	80,000	( 現 金 )	76,000
		( 仕 入 割 引 )	4,000
25 ( 給 料 )	240,000	<del>( 当 座 預 金 )</del>	<del>222,000</del>
		( 所 得 税 預 り 金 )	18,000

## 当座預金出納帳より

( 当 座 預 金 )	667,000	<del>( 売 上 )</del>	<del>95,000</del>
		( 売 掛 金 )	147,000
		( 受 取 手 形 )	266,000
		( 未 収 金 )	55,000
		( 貸 付 金 )	100,000
		( 受 取 利 息 )	4,000
<del>( 仕 入 )</del>	<del>63,000</del>	( 当 座 預 金 )	657,000
( 買 掛 金 )	98,000		
( 支 払 手 形 )	125,000		
( 所 得 税 預 り 金 )	23,000		
( 支 払 家 賃 )	126,000		
<del>( 給 料 )</del>	<del>222,000</del>		

仕入帳より

( 仕 入 )	286,000	<del>( 当 座 預 金 )</del>	<del>63,000</del>
		( 買 掛 金 )	136,000
		<del>( 支 払 手 形 )</del>	<del>87,000</del>

売上帳より

<del>( 当 座 預 金 )</del>	<del>95,000</del>	( 売 上 )	431,000
( 売 掛 金 )	228,000		
<del>( 受 取 手 形 )</del>	<del>108,000</del>		

支払手形記入帳より

<del>( 仕 入 )</del>	<del>87,000</del>	( 支 払 手 形 )	223,000
( 買 掛 金 )	136,000		

受取手形記入帳より

( 受 取 手 形 )	318,000	<del>( 売 上 )</del>	<del>108,000</del>
		( 売 掛 金 )	210,000

## 第 3 問

〔資料Ⅱ〕

## 1. 未決算について

( 当 座 預 金 )	280,000	( 未 決 算 )	352,000
( 火 災 損 失 )	72,000		

当社側で処理を行うのは、不一致の原因が当社にあるもので「通知未達(未処理)」「誤処理」「未渡小切手」などである。

## 2. 予約販売について

( 前 受 金 )	40,000	( 売 上 )	40,000
-----------	--------	---------	--------

## 3. 売上割引について

( 当 座 預 金 )	85,500	( 売 掛 金 )	90,000
( 売 上 割 引 )	4,500		

〔資料Ⅲ〕

## 1. 貸倒引当金の設定について

( 貸倒引当金繰入額 )	8,300 *	( 貸 倒 引 当 金 )	8,300
--------------	---------	---------------	-------

\* 受取手形：¥425,000

売 掛 金：¥475,000－¥90,000＝¥385,000

(¥425,000＋¥385,000)×3%－¥16,000＝¥8,300

## 2. 期末商品の評価について

( 仕 入 )	297,000	( 繰 越 商 品 )	297,000
( 繰 越 商 品 )	258,500 *1	( 仕 入 )	258,500
( 棚 卸 減 耗 損 )	20,350 *2	( 繰 越 商 品 )	50,660
( 商 品 評 価 損 )	30,310 *3		
( 仕 入 )	50,660	( 棚 卸 減 耗 損 )	20,350
		( 商 品 評 価 損 )	30,310

- \*1 @ ¥550 × 470 個 = ¥258,500  
 \*2 @ ¥550 × (470 個 - 433 個) = ¥20,350  
 \*3 (@ ¥550 - @ ¥480) × 433 個 = ¥30,310

## 3. 売買目的有価証券の評価替について

( 売 買 目 的 有 価 証 券 )	18,800 *	( 有 価 証 券 評 価 益 )	18,800
---------------------	----------	-------------------	--------

\* 簿価合計：¥981,000

時価合計：¥373,500 + ¥379,050 + ¥247,250 = ¥999,800

∴ ¥999,800 - ¥981,000 = ¥18,800 (評価益)

## 4. 減価償却について

( 減 価 償 却 費 )	131,440	( 建 物 減 価 償 却 累 計 額 )	70,000 <sup>*1</sup>
		( 備 品 減 価 償 却 累 計 額 )	61,440 <sup>*2</sup>

\*1 既存分：(¥1,500,000 - ¥150,000) ÷ 25 年 = ¥54,000

新規取得分：(¥1,200,000 - ¥0) ÷ 25 年 ×  $\frac{4 \text{ ヲ月}}{12 \text{ ヲ月}}$  = ¥16,000

\*2 (¥600,000 - ¥292,800) × 20% = ¥61,440

## 5. 社債について

( 社 債 利 息 )	16,000 <sup>*1</sup>	( 社 債 )	16,000
( 社 債 利 息 )	18,000 <sup>*2</sup>	( 未 払 社 債 利 息 )	18,000

\*1 ¥2,000,000 ×  $\frac{¥100 - ¥96}{¥100}$  ÷ 5 年 = ¥16,000

\*2 ¥2,000,000 × 3.6% ×  $\frac{3 \text{ ヲ月}}{12 \text{ ヲ月}}$  = ¥18,000 (平成 23 年 1 月 1 日～3 月 31 日までの 3 ヲ月分)

## 6. 退職給付引当金について

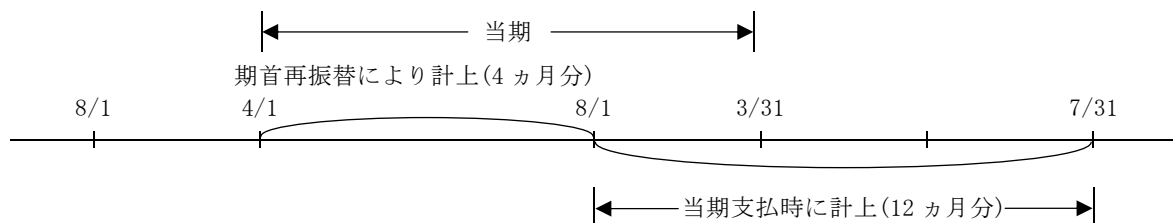
( 退 職 給 付 費 用 )	21,200	( 退 職 給 付 引 当 金 )	21,200
-----------------	--------	-------------------	--------

## 7. 保険料について

( 前 払 保 険 料 )	14,400 <sup>*1</sup>	( 支 払 保 険 料 )	33,600
( 前 払 保 険 料 )	19,200 <sup>*2</sup>		

決算整理前の支払保険料¥86,400 から新建物に係わる保険料¥28,800 を除いた金額 ¥57,600 は、期首再振替で計上された 4 ヲ月分と、当期支払った 12 ヲ月分の、併せて 16 ヲ月分の金額である。

\*1 ¥57,600 ×  $\frac{4 \text{ ヲ月}}{16 \text{ ヲ月}}$  = ¥14,400 (平成 23 年 4 月 1 日～7 月 31 日までの 4 ヲ月分)



4/1 の処理：( 保 険 料 )	14,400	( 前 払 保 険 料 )	14,400
8/1 の処理：( 保 険 料 )	43,200	( 現 金 等 )	43,200

\*2 ¥28,800 ×  $\frac{8 \text{ ヲ月}}{12 \text{ ヲ月}}$  = ¥19,200 (平成 23 年 4 月 1 日～11 月 30 日までの 8 ヲ月分)

## 8. 消耗品について

( 消 耗 品 費 )	94,500 *	( 消 耗 品 )	94,500
-------------	----------	-----------	--------

\* 消耗品購入時に「消耗品」勘定(資産)で処理しているため、決算時において当期消費分を「消耗品費」勘定(費用)に振り替える。

当期消費額：¥137,000－¥42,500＝¥94,500

## 9. 受取地代について

( 未 収 地 代 )	4,500	( 受 取 地 代 )	4,500
-------------	-------	-------------	-------

## 10. 法人税等について

( 法人税、住民税及び事業税 )	460,000	( 未 払 法 人 税 等 )	460,000
------------------	---------	-----------------	---------

\* 税引前当期純利益 ¥1,150,000 × 40% = ¥460,000

## 第 4 問

## (1) 補助部門費の製造部門への実際配賦(直接配賦法)

動力部門費：¥1,170,000 ×  $\frac{400\text{kwh}}{400\text{kwh}+320\text{kwh}}$  = ¥650,000 → 第 1 製造部門費へ

¥1,170,000 ×  $\frac{320\text{kwh}}{400\text{kwh}+320\text{kwh}}$  = ¥520,000 → 第 2 製造部門費へ

修繕部門費：¥900,000 ×  $\frac{18\text{回}}{18\text{回}+9\text{回}}$  = ¥600,000 → 第 1 製造部門費へ

¥900,000 ×  $\frac{9\text{回}}{18\text{回}+9\text{回}}$  = ¥300,000 → 第 2 製造部門費へ

工場事務部門費：¥882,000 ×  $\frac{40\text{人}}{40\text{人}+50\text{人}}$  = ¥392,000 → 第 1 製造部門費へ

¥882,000 ×  $\frac{50\text{人}}{40\text{人}+50\text{人}}$  = ¥490,000 → 第 2 製造部門費へ

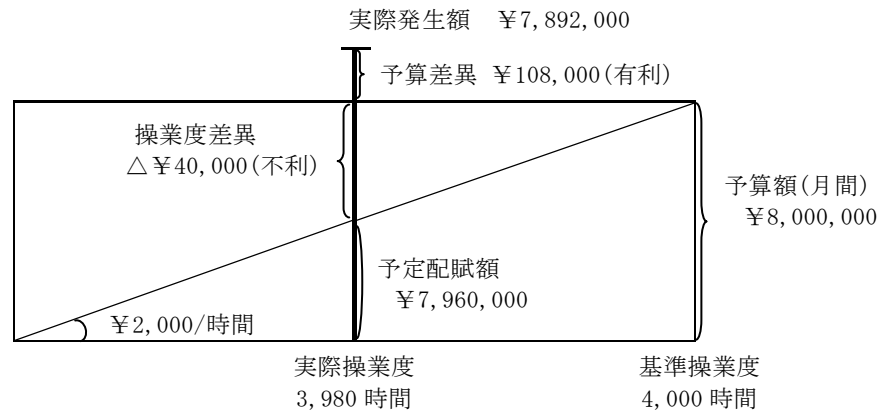
(2) 当月予定配賦額合計：  $\frac{¥96,000,000}{48,000\text{時間}} \times 3,980\text{時間} + \frac{¥68,400,000}{36,000\text{時間}} \times 3,050\text{時間} = ¥13,755,000$

当月差異発生額合計：¥13,755,000－¥13,762,000＝¥7,000(不利差異)

予算差異：(¥96,000,000＋¥68,400,000)÷12 ヲ月－¥13,762,000＝△¥62,000(不利(借方)差異)

操業度差異：△¥7,000－△¥62,000＝¥55,000(有利(貸方)差異)

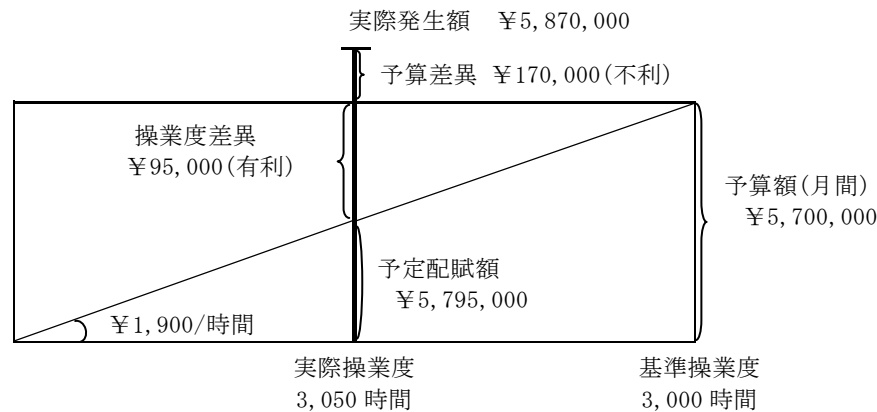
< 参考：第 1 製造部門 >



予算差異：¥8,000,000－¥7,892,000＝¥108,000 (有利(貸方)差異)

操作度差異：(3,980 時間－4,000 時間) × ¥2,000/時間＝△¥40,000 (不利(借方)差異)

< 参考：第 2 製造部門 >



予算差異：¥5,700,000－¥5,870,000＝△¥170,000 (不利(借方)差異)

操作度差異：(3,050 時間－3,000 時間) × ¥1,900/時間＝¥95,000 (有利(貸方)差異)

第 5 問

当月製造間接費の配賦額：¥805,120 ×  $\frac{¥200,000}{¥200,000 + ¥120,000}$  = ¥503,200 → X 製品

¥805,120 ×  $\frac{¥120,000}{¥200,000 + ¥120,000}$  = ¥301,920 → Y 製品

X 製品の計算

原 料 費		
月初＋投入	完成	
¥112,500 ＋ ¥247,500	800kg	¥320,000 (貸借差額)
	減損 100kg	—
	月末 100kg	¥40,000

加 工 費 (数量は完成品換算量)		
月初＋投入	完成	
¥87,300 ＋ ¥703,200	800kg	¥744,000 (貸借差額)
	減損 100kg	—
	月末 50kg	¥46,500

月末仕掛品原価

$$(\yen 112,500 + \yen 247,500) \times \frac{100\text{kg}}{800\text{kg} + 100\text{kg}} \\ = \yen 40,000$$

当月加工費：直接労務費 ¥200,000 + 製造間接費 ¥503,200 = ¥703,200

Y 製品の計算

原 料 費	
月初＋投入	完成
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> ¥23,000 ＋ ¥177,000 </div>	700kg
	減損 200kg
	月末 100kg
	¥175,000 (貸借差額)
	—
	¥25,000

月末仕掛品原価

$$(\yen 23,000 + \yen 177,000) \times \frac{100\text{kg}}{700\text{kg} + 100\text{kg}} \\ = \yen 25,000$$

当月加工費：直接労務費 ¥120,000 + 製造間接費 ¥301,920 = ¥421,920

月末仕掛品原価

$$(\yen 87,300 + \yen 703,200) \times \frac{50\text{kg}}{800\text{kg} + 50\text{kg}} \\ = \yen 46,500$$

加 工 費 (数量は完成品換算量)	
月初＋投入	完成
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> ¥66,480 ＋ ¥421,920 </div>	700kg
	減損 200kg
	月末 40kg
	¥462,000 (貸借差額)
	—
	¥26,400

月末仕掛品原価

$$(\yen 66,480 + \yen 421,920) \times \frac{40\text{kg}}{700\text{kg} + 40\text{kg}} \\ = \yen 26,400$$